

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：木村 昌司

事業名	一般国道473号 設楽バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	愛知県
起終点	自：愛知県北設楽郡設楽町和市 至：愛知県北設楽郡設楽町平山				延長	2.6 km
事業概要	一般国道473号は、愛知県蒲都市を起点とし、静岡県牧之原市に至る延長約150kmの幹線道路である。設楽バイパスは、幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした、延長約2.6kmの2車線道路である。					
H9年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H10年度用地着手		H13年度工事着手	
全体事業費	約 78億円	事業進捗率	23%	供用済延長	0.3 km	
計画交通量	2,100台/日					
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) 1.5 (残事業) 2.0	55/75億円 事業費：53/73億円 維持管理費：2/2億円		110/110億円 走行時間短縮便益：92/92億円 走行費用減少便益：14/14億円 交通事故減少便益：4/4億円		平成18年
事業の効果等	奥三河地域の東西方向を連絡する一般国道473号の幅員縮小、線形不良の未改良区間を解消し、安全で円滑な交通を確保する。					
関係する地方公共団体等の意見	北設井桁道路整備促進協議会の中で、幅員狭小であり、落石箇所が多いため、早期整備が期待されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	設楽町と東栄町との連絡強化による地域間交流の促進などが図られることから、早期に整備されることが期待されている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成16年度に0.3km供用しており、引き続き残りの用地買収、改良工事及び橋梁工事等を推進し、平成24年度に事業完了を目指す。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成24年度の工事完了に向け、残りの用地買収、改良工事、橋梁工事及びトンネル工事等を計画的に進める。					
施設の構造や工法の変更等	新工法による大規模なコスト縮減はないが、再生材の利用などを推進しコスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性、事業の進捗の見込み及びコスト縮減方策と代替案の観点から事業継続が妥当である。					
事業概要図	<p style="font-size: small;"> 北設楽郡設楽町和市 (起) ← 一般国道473号 設楽バイパス L=2.6km → 北設楽郡設楽町平山 (終) H16供用済 L=0.3km (2/2) 現道 (仮) 新堤石トンネル 堤石トンネル (現道) 黒金上橋、黒金中橋、黒金下橋 平山地区、黒金川 和市地区、三河清輪橋 至東栄町 </p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。